

平成21年度

鳩ヶ谷市環境市民会議

【報告書】



三ツ和公園（右上はセミの抜け殻）

『市民生活における環境問題』

緑でつながる街づくり Part2 ～緑・公園～

平成21年11月

目 次

	ページ
1 はじめに	1
① 会議の目的	
② テーマ	
③ 参加者	
④ 会議の経過	
2 現状と課題	5
3 提 言	6
① 緑の表彰	
② 既存の公園の有効活用	
③ 新設公園の位置づけ	
④ 街づくりと連携した公園の役割とそのあり方	
⑤ ネットワーク作り	
4 まとめ	10
5 資 料	13
① 鳩ヶ谷市公園位置図	
② チェックリスト集計	
6 個人のコメント	19
環境市民会議 参加者コメント	

① 会議の目的

現在の様々な環境問題に対処し、地域の環境を良くするためには、市民・事業者・行政などの各主体が自発的に環境保全活動を実践し、また、相互に連携してこの活動に取り組むことが重要です。

鳩ヶ谷市では、このような認識にたって市民の声を幅広く聞くため、「鳩ヶ谷市環境市民会議」を次のような主旨で立ち上げ2年度目の開催となりました。

- ・ 参加者が自主的・自発的に意見や考えを交換する。
- ・ 環境に関する様々な問題や課題を共有し、必要に応じて行政に提案する。
- ・ 環境に関する様々な考えを持つ人や取組み・活動を行っている人をつなぎ、新たな活動等に活かすネットワークづくりの場とする。

このことを受けて、環境市民会議では、参加者の環境に関しての意見を集約し、提案や活動について話し合うことを目的としています。

② テーマ

～「緑でつなぐ街づくり P a r t 2 緑・公園」～

「市民生活における環境問題について」という大きなテーマを基に、平成20年度環境市民会議サブテーマ「緑でつなぐ街づくり」を継承し、私たちの身近な「緑・公園」という視点から環境問題について考え、話し合うことにしました。

③ 参加者

参加者は、会議の趣旨に賛同した公募及び推薦による市民11名です。

【参加者】

飯 田 弘 (公 募)
太 田 茂 吉 (公 募)
川 上 靖 恵 (鳩ヶ谷市PTA連合会推薦)
坂 本 よ志江 (鳩ヶ谷市くらしの会推薦)
鈴 木 智 子 (公 募)
高 橋 一 枝 (鳩ヶ谷市小学校理科支援員)
田 代 博 人 (元市内小学校長)
豊 田 謙 一 (環境講座等協働)
春 峯 子 (埼玉県地球温暖化防止活動推進員)
三 浦 青 児 (埼玉県地球温暖化防止活動推進員)
大 和 伯 美 (公 募)

《 敬称略・五十音順 》

【アドバイザー】

環境省環境カウンセラー

埼玉県環境アドバイザー

NPO法人全国まちづくりネットワーク理事長 中 村 義

《 敬称略 》

また、第1回会議において、参加者の互選により座長・副座長を次のとおり決定しました。

【座 長】 田 代 博 人

【副座長】 大 和 伯 美

④ 会議の経過

【選任式・第1回会議】 平成21年 7月17日（金）

選任式開催。市長より挨拶。

アドバイザーによる今後の会議の進め方の参考として、講演を受講。

演 題 「地域から環境問題に取り組むには？」

～どのように関わっていけばよいか～」

講 師 アドバイザー 中 村 義

メンバーの自己紹介（会議に参加した動機等）をしました。

【第2回会議】 平成21年 8月 6日（木）

「市民生活における環境問題について」における今年度のテーマに関し、課題や意見の抽出をワークショップ形式で行いました。

【第3回会議】 平成21年 8月26日（水）

第2回会議「ワークショップ」でそれぞれの意見をまとめ、このまとめをもとに今後のテーマについて話し合いをしました。

【第4回会議】 平成21年 9月 9日（水）

「公園・緑」を軸に今後のテーマについて話し合いをしました。

【見 学 会】 各自

次回会議までに公園チェックリストを基にそれぞれの意見・感想をまとめ、この意見・感想を次回会議で検討することにしました。

【第5回会議】 平成21年10月 5日（月）

個々で見学をした公園について、意見や感想を述べ、報告書に向け討議を行いました。

【第6回会議】 平成21年10月19日（月）

「緑・公園」の提言について意見集約及び報告書作成準備を行いました。

【第7回会議】 平成21年10月29日（木）

鳩ヶ谷市環境市民会議報告書作成のための検討・打合せを行いました。

【第8回会議】 平成21年11月 4日（水）

鳩ヶ谷市環境市民会議報告書の調整及び校正を行いました。

【編集会】 平成21年11月12日（木）

鳩ヶ谷市環境市民会議報告書の調整及び校正を行いました。

【写真】

会議の様子



会議におけるワークショップ

2 現状と課題

環境問題を取り上げるとき、地球規模での課題である地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、熱帯雨林の減少、野生生物の種の減少、酸性雨の問題など多様です。私たちが、地球的な視野を持つと同時に、人と自然・環境とのかかわりを理解し、自然と共生するために人と人がかかわり、身近なところから、具体的な行動をすることが必要です。

環境市民会議の目的には「現在の様々な環境問題に対処し、地域の環境を良くするためには、市民・事業者・行政などの各主体が環境保全活動を実践し、また、相互に連携してこの活動に取り組むことが重要です。」と記されています。「様々な環境問題」をどのように考えていくのか、そして、「地域の環境を良くするため」に何をすべきかということを考え、行動や取り組みを考えていくという趣旨ですが、「様々な環境問題」に対する認識の差は当然としても、「地域の環境」についての現状は客観的データ等が少ないという状態で、個人の活動範囲の認識に留まり、前回の市民会議資料が共通した現状の認識となりました。

課題については、前回と同様に『鳩ヶ谷地域における人と自然の関係を認識し再構築すること、緑の保全・創造をとおして市民のネットワークを構築し、点在する緑をつなげ地域価値を高めていくこと、その実現に向けて市民・事業者・行政が適正に連携するシステムを整備し継続していくにはどうしたらよいのでしょうか。』（平成20年度鳩ヶ谷市環境市民会議報告書より）を大きな視点としました。

そして、この課題では、抽象的過ぎることから、① 身近であること、② 具体的な活動・取り組みができること、③ より多くの市民への活動への働きかけ・意識化ができることが必要だと考えました。そして、緑・公園の視点から「緑でつなぐ街づくり」を考え、現地調査を基に街づくりについて話し合うことにしました。

また、『市民・事業者・行政が適正に連携するシステム』について、市民会議の果たす役割についても、話し合うことにしました。

3 提 言

平成21年度環境市民会議は、来年度以降において、短期、中期、長期的ビジョンで市と協働で実現していきたいことを次のとおり提案します。

1 緑の表彰制度の導入

現在、グリーンカーテンの取り組みが行われ、市民の緑への意識が高まり、よりよい環境づくりが広がろうとしています。この活動を基に、「写真発表会」を平成21年度より実施しました。今後、季節ごとの様々な花や植物を紹介し、表彰することを提案します。これにより個人や団体の横のつながりが生まれ、より多くの市民が意欲的に花や植物を育て、環境に対する意識が高まることが期待できます。そして、そのことが緑豊かな街作りにつながります。

来年度は、つる性植物の表彰を実施していきたい。

2 既存の公園の有効活用

公園には、環境・防災・景観・地域の活性化等、様々な機能があります。また、利用者也幼児から高齢者まで多様です。地域に愛される公園、鳩ヶ谷市在来の動植物に配慮した特色ある公園になるように、市・自治会・学校等のさらなる連携が求められるところです。既存の公園を市民が主体となって（自分の庭のように愛情を持って）活用できるようにしていきたい。

3 桜町湧水公園（鳩ヶ谷市民公園）の保全

桜町湧水公園及びその斜面林、隣接する駐車場を行政と協働しながら市民が主体となって保全していきたい。また、ふるさとの森（法性寺）、市指定保存樹林（6箇所）についても保全していきたい。

グリーンカーテン

南7丁目 M 氏宅・ゴーヤ



南7丁目 M 氏宅・アサガオ



坂下町1丁目 K 氏宅・バラの垣根



辻小学校



辻公園の花壇



土の中で、球根が春を待っています…

中居公園



秋に茂みの下へ行くとドングリが…

特色ある公園づくり
中居小学校との連携
(自然・体験学習・草取り)
世代間ふれあい活動
(自治会館)

公園の使用についての相談先：建設課

桜町湧水公園



平成20年度環境市民会議メンバー主催の
観察会が、雨の中開催されました。

4 新設公園・広場への希望

～里に新設される予定公園及び新たな公園・広場作りについて～

地域の声・市民の声を生かした特色のある公園になるよう、市民と行政による協働の組織づくりが必要です。

また、公園のない地域・自治会において、公園・広場として活用できるような土地がある場合は、コミュニティの場として活用していきたい。

5 街づくりと連携した公園の役割と未来

～環境ネットワークづくりの推進～

環境問題について、市民・団体・行政等、様々な活動が行われています。その活動一つ一つは貴重なものであり、今後も継続、発展させていくことが必要です。さらに、「鳩ヶ谷」という観点から環境市民会議を中心としてまとめ、つながっていくことが重要であると考えます。（右図参照）

さらに、市民同士のつながりや行政の担当部署を越えた環境問題に対する理解と連携を深め、それが、人づくり・街づくりになり、よりよい環境づくりへと結びついていきます。

里新設公園予定地

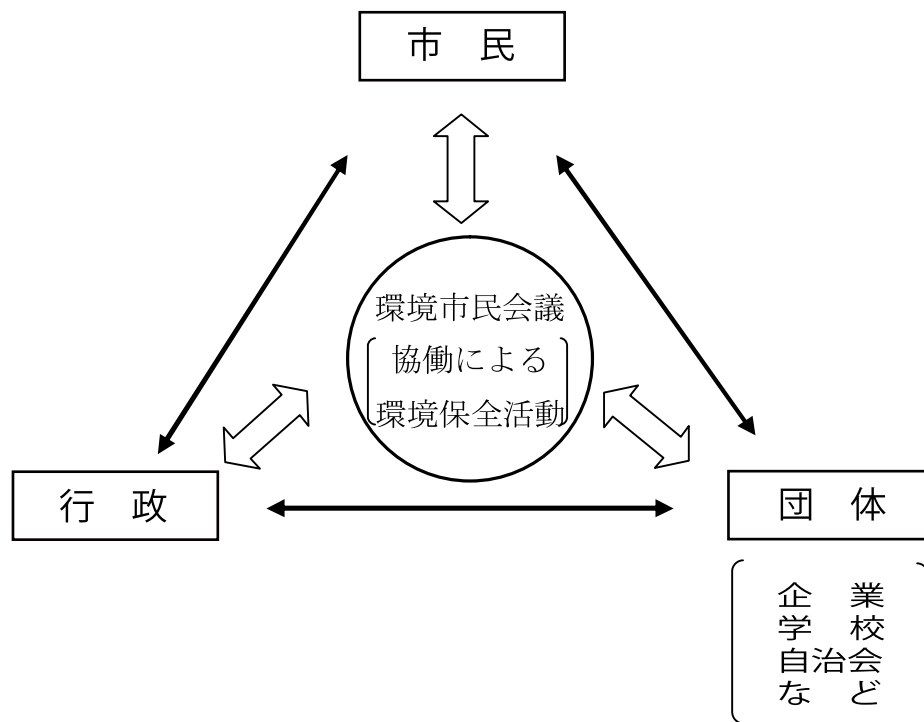


市民の声を生かした公園を期待しています。

桜町6丁目公園



小さいけれど地域の人に愛されています。



平成21年度環境市民会議は、7月から8回にわたり、「環境」について参加者が個の課題を出し合うところから始まり、話し合いの中で「緑・公園」に絞り、現地視察を行い提言へと結びつけてきました。

「市民生活における環境問題について」という大きなテーマから、「緑でつなぐ街づくり～緑・公園」に至るまで時間がかかりました。それは、「環境問題」が、きわめて幅の広い問題で、その対象は身近な身の回りの問題から地球規模の問題までの広がりを持ち、その領域も自然科学・社会科学の分野から一人ひとりの感性や心の問題まで及んでいるからです。

前回のテーマである「緑でつなぐ街づくり」の現状や課題に示されている『鳩ヶ谷地域における人と自然の関係を認識し再構築すること、緑の保全・創造をととして市民のネットワークを構築し、点在する緑をつなげ地域価値を高めていくこと、その実現に向けて市民・事業者・行政が適正に連携するシステムを整備し継続していくにはどうしたらよいのでしょうか。』という問題提示は、共感できるものでした。そこで、よりよい鳩ヶ谷の街づくり、人と自然、緑の保全・創造、市民・事業者・行政が連携するシステム（ネットワークづくり）などの課題意識を継承し、わたしたちが分かりやすい、そして、身近な「緑・公園」に着目していくことにしました。

視点を明確にしたことと現地調査の実施により、緑・公園の持つ目的や多様な機能の在り方、維持・管理する役割、そして、「緑・公園」から見えてきた市民の意識の差などいくつかの課題が見えてきました。

学校教育は、自らの日常活動が環境問題と密接に関連していることの認識を持つとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために、身近なところから、何らかの行動をしようとする心や実践的態度を育成するように努めています。これは、わたしたち環境市民会議や市民一人ひとりに求められる基本的な態度であるようにも思えます。

チェックリストを基に歩いた公園の中には、花壇のある公園、維持管理がさ

れている公園、草がのび放題になっている公園、自然環境学習や世代間交流が可能な公園などがあり、「緑・公園」、環境、地域コミュニティに対する地域住民の意識の違いを感じました。それを基に、提言1「緑の表彰制度の導入」、提言2「既存の公園の有効活用」としてまとめることができました。

特に、提言1「緑の表彰制度の導入」については、すでに実施されているグリーンカーテンの取り組みや写真展を生かしながら、市民全体に働きかけ、誰でもできる身近な活動を通して「よりよい街づくり」、「環境」に対する意識が高まることが期待できます。また、短期的・中期的・長期的な取り組みの観点から考えるとすぐにでも実践できる効果的な取り組みであるといえます。

提言3「桜町湧水公園（鳩ヶ谷市民公園）の保全」、提言4「新設公園・広場への希望～里に新設される予定公園及び新たな公園・広場作りについて～」については、今後の継続した活動とコミュニティの場としての位置づけからの提言ですが、市民からの発想と行政の役割とのつながりが大切になってきます。

提言5「街づくりと連携した公園の役割と未来～環境ネットワークづくりの推進～」については、環境に関する様々な活動について、どのような活動がいつ、どこで行われているのか等についての様々な情報を市民に提供する仕組みを整備することが必要です。市民・自治会・学校等で実践されている内容を知ることが稀です。素晴らしい活動があっても個や団体内だけで進められ、「維持・発展」する活動になっていないように思います。鳩ヶ谷という地域の中で、環境の大切さを実感しながら、環境について実際にどのようなことが問題となって、その問題の解決に向け、どのような取り組みがなされているか、そして、自分たちは何ができるか、何をしなければいけないか等を知ったり、学べる場や情報の共有化が必要です。一つの活動が次の活動を創造したり、ちょっとしたボランティア活動がよりよい生活や環境づくりにつながっていくネットワークづくりが早急に求められます。

今回の環境市民会議の特徴は、前回の課題を継承し、具体的な提言と、提言が提言で終わることなく、短期・中期・長期の目標を持ち、実現可能な提言に

したいという願いが基にあることです。それぞれの課題をまとめ提言するまでの過程は、難しい面もありましたが、多くのことを学ぶことができました。テレビや新聞等で紹介される実践に勝るとも劣らない「鳩ヶ谷」の地道な実践を紹介したり、お互いに認め合う場を設定していくことは、環境市民会議から発信できる内容であることも確信しました。

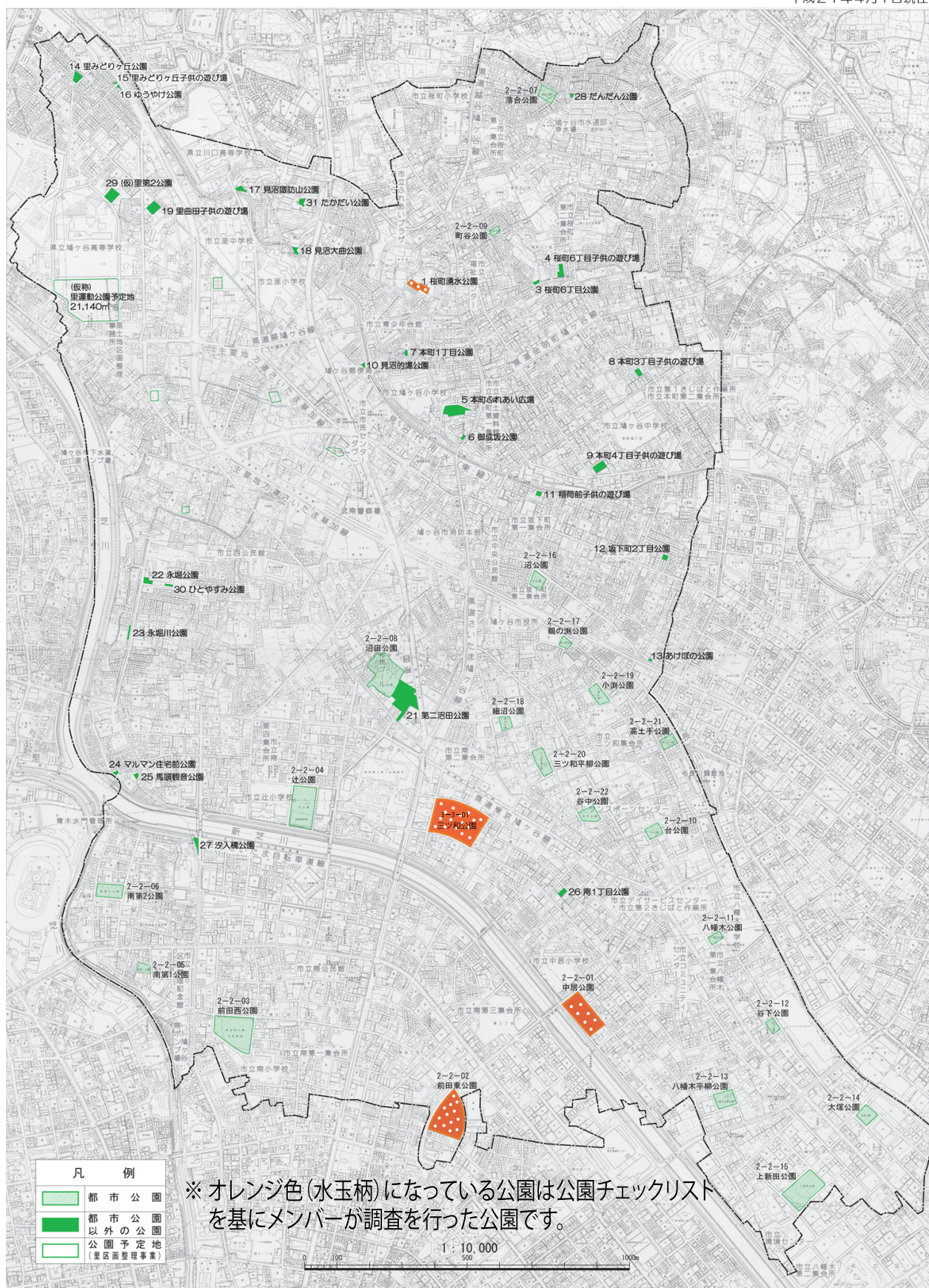
環境～緑・公園～を通して、様々な議論、現地調査を行い、提言としてまとめられたことは、参加した個々のメンバーにとって大変貴重であり、有意義な経験でした。

最後に、5ヶ月にわたり、私たちメンバーとともに環境市民会議に携わっていただいたアドバイザーの中村義氏ならびに事務局（鳩ヶ谷市環境対策課）に対し心から感謝を申し上げます。

① 鳩ヶ谷市公園位置図

鳩ヶ谷市公園位置図

平成21年4月1日現在



② チェックリスト集計

環境市民会議の中で、公園の現状を知るため各自で調査を行うことになり、アドバイザーの参考意見を基に、視点が共有化できるよう次の基本確認項目を決めました。

- I 目的は（例、子ども向け・広場・自然等）
- II 広さ・空間
- III 樹木・野草・花の種類
- IV 遊具の種類・数など
- V メンテナンス（清掃・手入れなど）
- VI 安全性（危険な箇所は・防犯灯）
- VII 看板・標識の管理
- VIII トイレ・洗面所・水飲み場等
- IX ベンチ（材質・設置状況）
- X 緊急連絡先

この基本確認項目を基に、三ツ和公園、前田東公園、中居公園、桜町湧水公園について全体の感じ・その他気になった点などを調査し別紙のとおりとなりました。

・三ツ和公園

全体の感じ

目的は自然を楽しむ広場だと思う。樹木がたくさん植えられていて落ちつける場所になっている。
入口に自転車の置き場が設置されている。
水飲み場はきれいとは言えないが、飲む所と手足を洗う所に別れている。
散策用に道が整備されている。ボール遊び等ができるように別に小さいグラウンドがある。
多機能型トイレ等があり外見はモダンな形のトイレだが、中はきたない。
近くで遊んでいた人の意見だが、ランニングコースを作ってほしい。
自然の樹木が多く、藤棚があつて、歩道があり散歩に良い。
芝生があり空間が広い。大人向けでベンチが多く市民の方が大勢座っている。
毎日公園に来る人が多数いるとのこと。
トイレが女性1、男性1、兼用の多機能型で車椅子が中央に1
芝生はあるが、草花はない。遊具が少ないがさくでかこった砂場が子どもには良い（幼児）
電話ボックスがあるとよい。市民の広場舞台があるがもっと幅広く利用すると良い。
木が全体的に若い感じ。中央のクスノキが育つとシンボルツリーになるのでは。季節の花が見られる。
野草で子どもが遊べる。珍しいものはない。メンテナンスは少々古びている場所もあった。
緑も多く高齢者の人や小さい子を連れた人に利用されている。
樹木に名札がついている。木にせみの抜け殻がたくさんついていた。
鳩ヶ谷市の中では最大級の広さで、遊具、ゲートボール場、舞台、広場等があり、避難場所に指定されていて、防災備蓄倉庫もある。
広場の周りにはいろいろな木が植えられていて、木陰の舗装道路を散策できるようになっている。
東側には桜の木が多数植えられていて、一部、大きなケヤキも植えられている。
ケヤキの木にはカラスと鳩が多数、留まっていた。
訪問した日は天気もよかったので、家族連れが広場の木陰で昼食を取ったり、年配の人が何人かベンチで話し込んだり、親子連れが遊具で遊んでいたりしていた。途中で、ウォーキングラリーをしている年配の方が多数見えて、休憩して行った。
広場には草が生えている。定期的に草刈が行われているようだ。訪問時は長くも短くもなく適当であった。
植木は多数植えられているが、意図を持って植えられているのか疑問である。

その他

ベンチがくっついている場所があるが、適当な間隔に離してほしいとの事です。
遊具の数などは少ない様思う。
公園としては清掃されてきれいで自然が多く、市民の憩いの場としては良いが、もっとベンチ等市民が利用できれば良いと思う
動物等共存出来れば…
出入口が6箇所あり便利
防災倉庫があり災害の時は便利
イベント広場として活用されているにはいいが、それ以外の時期の活用については、人がまばらで少々さびしい気もする。
広場の中心に照明のポールが立っているのがどうか。
使っていない空間もまだあり花壇などを作って花を植えるのもどうか。
遊具：ブランコ、滑り台（大・小）、鉄棒、砂場（囲い有り）、木登り丸太、登り棒、動物の乗物
植木：ソメイヨシノ、山桜、アカシア、サンゴジュ、ユリノキ、クスノキ、ウメ、ウバメガシ、フジ（棚有り）、キンモクセイ、シダレヤナギ、トウカエデ、メタセコイヤ
ベンチ：多数あり。木製のベンチが多いが、一部、鉄製のベンチもあり。

・前田東公園

全体の感じ

公園の大半が野球やサッカー等の場所になっている。
大人も楽しめる運動遊具等もあるが、子どもの遊び遊具の数は少ないと思う。
夜間若者達が集まって来て、ゴミを散らかすが近所の人等が片付けているとの事です。
すべり台がすべらない。
砂場が狭い。
砂場の周りのコンクリートにゴムがかぶせてあったが、取れてしまいむき出しになって小さな子どもにはあぶない等遊ばせていた親の意見でした。
子ども向け、運動広場・子どもの遊び場
全体の半分が子どもたちの遊具。半分为運動広場
ブランコ・鉄棒・アスレチック・シーソー・すべり台・砂場（柵有）
ベンチが多い 木製で 13 個+2 個=15 個
樹木は周りをかこっている。
トイレは男・女各 1 ヶ 広くてきれい。
大人の市民の方々がベンチを大勢の人達が利用している。
遊具がそろっている。いたずら書きがある。
運動用具はあまり活用されていない。 半分は運動場
時間もよいのか、子ども連れ、散歩中の人が多い（平日 10:30）
ケヤキもじゃまにならない間隔でよく育っていて見事
公園と空間（ソフトボール場）とが一緒になっていて広々としている。
緑も多く高齢者の人や小さい子を連れた人も多い。
トイレなどもきれいになっている。
中央にソフトボール場があり、その周りが公園となっている。
バックネット裏には、遊具、うんどう遊園があり、最も広くなっている。
公園は避難場所に指定されていて、南三丁目の防災倉庫、南四丁目の自主防災会備蓄倉庫があり、公園の隣には南四丁目の集会場、駐車場がある。
公園の一角には、小さな樹木の密集地がある。駐輪場も多数ある。
公園の入口には鳩ヶ谷市の看板、広報板があり、公園内の通路にも鳩ヶ谷市の看板が目立つ。
バックネット裏には 4 本の大きなケヤキが、入口近くには大きなヒマラヤスギ、イチョウの木が植えられている。
ソフトボール場の三塁側から駐車場にかけては、桜の木が植えられている。
訪問した日は、ゲートボールをされていた人たちが終わった後、公園内を清掃していた。
毎週清掃が行われているようだ。その後、少年野球の人たちが集まってきて、野球の練習を始めた。
大人の関係者も見えていて、練習に加わったり、応援していた。
数組の親子連れが遊具で遊んでいたり、ベンチに座って本を読んでいる人もいた。
人の出入りも多く、安心感がある。

その他

木陰は適当にあるが、花等は植えてない。メンテナンスはされている様に思えない。看板・標識等はいくつもある。
ベンチはたくさん有り、トイレはきれいとは言えないし、ペーパーがない。
緊急連絡先は市役所の代表の TEL が書いてあるだけで、何課とは書いてなかった。
トイレはきれいだが、ペーパーがきれいでいた。
土の上を歩く道となっていてどこでもいけるのは良いが、雨が降った後などは泥だらけになるのではないかと。
通路は、舗装してもどうか。
使っていない空間もまだあり花壇などを作って花を植えるのもどうか。
遊具、植木の種類及びベンチは下記の通りです。
遊具：ブランコ（4 台）、滑り台（小）、ローラー滑り台、鉄棒、砂場（囲い有り）、アーチ型の渡り
植木：ケヤキ、ヒマラヤスギ、イチョウ、サクラ、イロハモミジ、カイズカイブキ、シラカシ、ビワ、
バナナ、アメリカハナミズキ、キンモクセイ、ウメ
ベンチ：多数あり。木製のベンチ。

・中居公園

全体の感じ

半分は子どもの遊び場。半分は雑草の茂っている広場。
雑草が多いので芟ってほしいとの要望あり。
雑木林が多く涼しげだが、危険な場所にもなりかねないと思う
かわいい水飲み場があり、トイレにもペーパーがついていた。
ベンチは少ないと思う。
雑木林の位置はいいが、茂りすぎ。草のたけも高い。
自然のよさを味わえるように工夫が必要。くぬぎのどんぐりが拾える。
樹木の多い自然と子供の遊びはと広場が一緒になった公園としてよいと思いましたが、その分管理が難しいのかだいふ草が伸びていました。
トイレなどもきれいになっている。
鳩ヶ谷市の中では中規模の広さで、遊具、広場、樹木の密集地があり、避難場所に指定されている。
公園内には南二丁目の自主防災会倉庫、美化用具庫があり、公園の隣には南二丁目の集会場がある。
広場には草が生えているが、定期的に草刈が実施されている。また、夏は南二丁目での盆踊り会場となっている。
樹木の密集地は、主に、クヌギが多く植えられていて、シラカシも植えられている。
その一角には防災スピーカーが設置されている。
公園の周囲には、いろいろな木が植えられている。川伝いには柵が設置されていた。
公園内には南二丁目環境部の小さな看板が目立つ。例えば、みんなの公園、犬のふんは持ち帰りましょう、野鳥にエサを与えないで、ゴミはみんなが持ち帰りましょう。
町内会に環境部があり、掲示しているようだ。町会でもメンテナンスをしているようだ。
公園の入口には、市役所の看板があるが、広報板もあった。広報板に市役所の電話番号が記載されていた。
訪問した日は、数組の親子連れが遊具で遊んでいたり、ベンチで昼寝している人がいた。
夜になると樹木が多く植えられている奥の場所は暗いので、怖い感じがする。

その他

犬の散歩禁止の立て札にかかわらず、犬の散歩が多い。
園内に集会場があるので活用できるといいと思う
使っていない空間もまだあり花壇などを作って花を植えるのもどうか。
自然を学べるものがあったてもよいのではなか。
枯れ木などで腐葉土を作る。カブトムシやクワガタ等を育てる。
シルバー人材センターで鈴虫を「市民ふるさと祭り」で配布しています。
遊具：ブランコ、滑り台（小）、鉄棒、砂場（囲い有り）、シーソー
植木：クヌギ、シラカシ、ケヤキ、メタセコイヤ、サンゴジュ、ユリノキ、プラタナス、カシ、ポプラ、アオギリ、エノキ、フジ（柵有り）
ベンチ：ところどころに設置されており、木製のベンチ。

・桜町湧水公園

全体の感じ

公園というよりは池の周りを散策するという感じで、子どもを連れて遊ぶという所ではない。
もう少しきれいに整備して花等を植えればもっと池が映えると思う。
隣接する民家との堺の道は幅が狭く足元が危ない。
湧水公園と名前の書いてある看板が見当たらなかった。
何人かの人に場所を聞いたが、知っている人が少なかった。
池と駐車場の感じ
井戸水を吸上げて池に入れあふれると見沼用水に流す。
池は池(魚)、はすの池、しょうぶの池 3種類に分かれている。
テーブルを中央にベンチで囲み藤棚が良い。
赤とんぼ・モンシロチョウ。アメンボなどがいて、今まで回った公園と比べて生き物がたくさんいそう。
遊歩道を整備して入りたい人が通れるようになるといい。
湧水を利用した公園であり、自然が残っていて良い。
「鳩ヶ谷市では最も自然があるところです」と湧水の近くの標識に表示されています。
また、竹藪の一角に蔭が見えにくくなっていますが、埼玉県標識には、「鳩ヶ谷市桜町ふるさとの森」についての説明文がありました。足立区の桑袋ビオトープ公園や川口自然公園を見た後だったので、湧水公園って、イメージとしては、広くて散策できるのかな～と思っていました。
しかし、初めて行って見て、パイプを通して水を流していたり、池は小さく、奥のあやめの通路は木が腐りかけていて、立入禁止となっていて、イメージとは大きく異なっていました。
また、公園の境界線がどこまでなのかはっきりしていません。奥のあやめ畑までなのか、その奥の竹藪まで含まれるのか、また、北側の駐車場との境界もちょっと曖昧です。
池で釣りをすることは、標識より、可能であることがわかります。しかし、駐車場がないので、車ではなく自転車で来ないと停めるところはありません。椅子とテーブルがあるので、ちょっと一休みすることは可能です。
「自然、ビオトープ」がコンセプトだと思えば納得するが、「公園」という枠で括されるとなかなかキビシイ。木陰がない。また、植えられている木々が不自然に感じる。
「この池に生息している生物たち」という看板でも立っていたら子どもの興味を引くのではないだろうか…。狭い。チェックリストのどの項目にも引っ掛かりがない公園だと思う。
全体像としての公園像が描けていない印象を受ける。まとまりを感じない。

その他

正面の竹。駐車場 一緒に市に買い取ってもらい早くビオトープを作れると良い。
防犯灯等夜間照明が少ない。夜は危険なので対策を検討したほうが良い。
斜面林も含めてビオトープになっているといい
手入れをしている人(ボランティア)がいて、きれいになっている。
民間の人の土地なので、あまり設備もできないのかもしれないが、トイレや水飲み場などの設備があっても良いと思う。
管理からなのかわかりませんが、橋を渡ることもできたらと思いました。
湧水の後ろには、井桁に組んだ鉄パイプがあり、そこにネットがかかっています。
工事現場にあるような黄色と黒のペンキを塗った立入禁止の衝立があります。ちょっと見苦しい感じがします。
湧水が出ているところから池に続く小川は、岩を配して自然の感じがでています。
現在、立入禁止となっているあやめの通路は、修繕をして、是非、通れるようにして欲しい。
井戸水をポンプアップしているところは丸見えなので、周りを覆って見えないようにして欲しいと思います。
湧水の手前には、ゴミ袋が木にぶら下がっていた。これらは撤去したほうが見栄えもよろしいかと思います。
自然やビオトープを前面に押し出す「公園」になるには相当な時間がかかりそう。
夜は絶対に近寄りたくない場所。
ホタルが飛び交う公園になったら絶対に夜に見に行きたい！
『夜の観察会』等が出来るようになったら素晴らしい！！

7月からあつという間の5ヶ月。この開かれた「鳩ヶ谷市環境市民会議」に参加させて戴き、ありがとうございました。皆さまの自然環境に対するさまざまな思いを共有することができ、とてもうれしく感じています。21世紀は、環境と地域をもっと大切にする時代です。すなわち、「自然と人にやさしいまち」が、今求められていると思います。子供からシニアまで、「多くの市民が主役」の先駆的なまちづくりを目指して欲しいのです。近い将来、こだわりの、ひと味違う、おすすめの公園ができることを期待しています。同時に、市民が気持ちよく参画できるネットワークづくりへも挑戦してください。「協働の精神」が広がって「心豊かに暮せるまち、鳩ヶ谷」の実現を！

アドバイザー 中村 義

鳩ヶ谷で育った子どもたちは、鳩ヶ谷が故郷です。自分に自信を持ち、学校・地域・鳩ヶ谷を誇りに思い、学び・生活してくれることを願っています。価値観が多様化した社会で、学びも、生活も一般化し「こだわり」も薄れ、共に活動することも減ってきているようにも思えます。

そういう中で私の思う「美しい街・優しい街・私たちの街」づくりと「みどり・公園」がつながり活動できた環境市民会議はとても貴重な数ヶ月でした。誰もが参加できる緑の表彰制度の提言は、花や緑を育てる活動をとおして人が育ち、人がつながり、結果として「美しい街・優しい街」、そして、「私たちの街」づくりにつながるはずです。また、みんなが環境を意識する視点になることを願っています。

座 長 田代 博人

副座長という大役に、最初はどうなることやらと思いましたが、座長さんのリードと皆さんのご協力で何とか無事、数回の会議を終えられそうです。過ぎてみればあっという間で、環境を考えるまだほんの入り口に立ったに過ぎないという感があります。

今後も、今回のメンバーだけでなく、平成20年度のメンバーとも交流を深め、生き物にやさしく、人にとっても、住みやすい環境作りに目を向けていきたいと思います。

個人的には、日々の生活を丁寧にとこと、アクティブに活動することのバランスをとっていきたいです。まずは、今年の冬は、春に庭の花がきれいに咲くように土作りをしたいです。

副座長 大和 伯美

平成20年度の環境市民会議に知人が参加しており、環境問題にも関心がありましたので、私も会議に参加させていただきました。家の前の小さな庭には樹木が植えてあり、米のとぎ汁を撒いたり、道路側の落ち葉を清掃したり、剪定も私自身で行っています。

環境市民会議を通じて、市民一人ひとりが、そして、市民、行政、団体が協働しながら継続していくことの大切さを痛感いたしました。また、今回の参加者は勿論のこと、平成20年度の参加者とも交流ができ、大変貴重な経験をさせていただきました。自宅から近い八幡木し尿処理場の陸上部分の基本計画や整備等の今後の「緑の街づくり」にもかかわっていただけたらと思います。

飯田 弘

「環境問題」は、次の世代に対して今私たちが取り組むべき問題であることをどのように考え伝えることができるのか、経営として環境を「省エネ・省資源（紙・ゴミ・電気・燃料）」にこだわっているだけではいつかマンネリ化になり「環境を有益な活動」と捉えることにより、ものの見方、考え方も変わると思います。

「環境問題」は、「安心・安全そして住みやすい町」へとつながることが、今回「鳩ヶ谷市環境市民会議」でも確認されましたので、さらに行政・商工・市民連携の「組織」へ発展することが必要と考えます。

太田 茂吉

平成20年度環境市民会議に引き続き、平成21年度環境市民会議にも参加させていただきました。前回もそうでしたが、今回もメンバーの皆さまは大変熱心で、心から鳩ヶ谷を愛していらっしゃるのだなあ、と思いました。

自分の庭のように感じる公園をめざす、というコンセプトに私は目からウロコが落ちる思いでした。公園は行政が作り、市民に提供するものだと思っていたため、私は今まで公園に愛着など持っていなかったからです。

自然と共存しながら、人の心を癒し、人を育んでくれる公園作りに私たち市民一人ひとりが関わりを持っていくだなんて。考えただけでワクワクします！この環境市民会議を通じて、この鳩ヶ谷でそれを実現していくはじめの一步が今、市民レベルで始まったように思います。

川上 靖恵

私は昨年に引続き平成21年度環境市民会議に参加しました。今回は緑・公園がテーマとなり公園を見学しました。

普段何気なくながめていた公園が緑と人・生きものとの共存・あらゆる分野でいかに公園が人間社会に大切な役割であるかあらためて感じました。

子どもから大人・年代を超えたコミュニケーションを大切にした公園が有効に活用できれば良いと思いました。

坂本よ志江

環境問題の講演会などを何度も拝聴し、独自でもボランティア活動のメンバーとなったり10年前からコンポストの設置や植樹活動に参加していたので、環境市民会議のメンバーになった時もエコを中心としたテーマに行なわれると思っていたのですが、今回のテーマには会議の当初はかなりとまどいがありました。

ですが、みなさんの取り組みをみているうちに私にも新たな環境の意識が高まり、刺激を受けることができました。ありがとうございました。

鈴木 智子

当市に越して来て十数年、市の行政等に係ることなく過して来ました。初めて市民会議に参加して思った事は、他のメンバーの方々の鳩ヶ谷に対する熱い思いに感心しました。

今回「緑と公園」というテーマで何箇所かの公園へ調査に行きましたが、各公園とも緑は多いものの雑草が茂り整備されていない所がありました。公園の調査の際に気が付いたのですが、公園周辺に限らず鳩ヶ谷市全体に街灯が少なく暗い道が多いことです。LEDランプを使用した街灯を増やすことによりCO₂の削減につながります。公園のあるべき姿は子ども同士、子どもと親・お年寄りなど世代を越えて使用されることだと思います。

子ども達が遊ぶ姿を親やお年寄りが見守ることで防犯にもなります。そんな多くの人が集える公園が数多く造られることを願っています。

高橋 一枝

前回の環境市民会議のメンバーの方から「環境市民会議というものがある」と前々より伺っていましたので、興味があり参加させていただきました。会議では「環境問題」という範囲の広さに各メンバーの皆様それぞれにご意見があり、手探りで議論するのは困難をきわめ…白熱した議論の末、殴り合いの大乱闘…にはならず、問題の深刻さゆえ「静かなる会議」が印象的でした。

前回のメンバーには活動されておられる方が多く、自分の不勉強もあり、大変参考になりました。会議に参加する事で改めて鳩ヶ谷市の環境問題を知る事が出来ました。有難うございました。

豊田 謙一

5年前、我が建物前の武南警察署の桜は見事でした。また、眼下の緑の雑木林には野鳥も飛来し終の棲家に大満足。ところが、僅か2年の間に桜は伐採され、雑木林はマンション建設進行と環境は急変してしまいました。それで、何としても緑で憩える場をと市内の公園巡り。しかし、緑の木々の下で寝転がれる芝生いっぱいある公園はありませんでした。(川口市には多くあります)。

市民が憩える木々の緑と芝生ある公園が多くあれば、環境のみならず、市民の安らぎの場、緑のイベントなどで交流の場として発展していくと思います。

いま私達は、鳩ヶ谷市を緑いっぱいの環境にして、次世代に引き継ぐべきです。この「環境市民会議」を机上の論議で終わることなく、実現させたいと思います。

春 峯子

昨年発足した環境市民会議も2期目に入った。市内の環境全般に亘り、市民の目線でどれだけ関わっていけるのか注目していたが、自分自身も一委員としてこの会議に参加し、発言の機会が与えられた事に感謝している。

会議はみどりから出発し、どこへ向かうのか、選択の幅は広いが、しぜんに公園へとたどり着いた。

前期の報告書からは、この鳩ヶ谷を何とかしたいとの委員の熱いメッセージが伝わってくる中、新委員はこの思いを受け、「みどり」がより具体的な「都市公園」の創造に結び付くことを目指した。

私たちの議論がこの場に留まらず、広く市民の皆さんの身近な問題として関心が高まる事を期待している。しかし残念ながら関係行政職や議員の反応は鈍く、市民会議の認識の低さも認めざるを得ない。環境の街づくりはいま始まったばかり、次代に何を残すのか、私たちには責任がある。

次期もみどりのネットワークづくりや開かれた公園のあり方について具体的に建設的な意見の場になるものと期待してやまない。

三浦 青児

平成 2 1 年度
鳩ヶ谷市環境市民会議報告書

事 務 局	鳩ヶ谷市市民環境部環境対策課
〒334-8511	鳩ヶ谷市三ツ和 1 丁目 1 4 番地の 3
電 話	0 4 8 - 2 8 0 - 1 1 1 1 (代表)
F A X	0 4 8 - 2 8 5 - 1 1 0 2
メ ー ル	kankyo@city.hatogaya.saitama.jp